

国分川改修に強い要望

医大周辺の市街化にも関心

岡豊地区 市政こん談会

市政の動きをもっと深く知ろう—と二月七日、岡豊地区公民館（田島一徳館長）で市政こん談会が開かれました。参加者は、地元から同公民館運営審議会委員、民生児童委員、部落区長ら代表約三十人、行政側から小笠原市長、門田教育長をはじめ関係課長七人が出席、岡豊地区のかかえる問題について話し合いが行われました。

話し合いに入る前、小笠原市長はこれからの市政の動きについて、次のように述べました。

▼現在五十八年度予算を編成中で、現実なものが出ていないが、税収の伸びも鈍化しており、財政事情は依然厳しい▼今年はジェット化の仕上げの年で、秋には空港ビルが完成する。ジェット化のメリットをどのように活用するか考えていかなければならない。空港、高速道路インターチェンジなど、近代化へ向けて進行中で、基盤を整えつつある▼五十八年度の新しい企画と言え、黒潮博覧会（本市の担当は農業関係の展示）がある。建設事業では、大篠小、稲生小、十市小の建築が予定されている。など、五十八年度の主だった計画について報告しました。

岡豊地区のかかえる問題や市政への要望に対する執行部の答弁は次のとおり。

■福祉問題



地区民30人が集まり、市政について熱心に話し合った

本市の福祉関係予算は約四十六億円だ。単に金を多く使うだけでなく、これからは福祉行政の中味を見直す必要がある。県の指定を受けて本年度から三カ年計画を進めている「福祉の町づくり」は、多くの団体の協力を得ながら「社会奉仕の輪を広げよう」を目的に展開中だ。青少年の非行問題にも、この事業が役立つことを期待している。

■国分川の改修

布師田の鉄橋より下流は、県の高潮対策事業で改修さ



改修が待たれる国分川(小蓮橋付近)

る。国分川の水質と地下水への影響

ある。補正予算で努力して

■公民館に対する補助

財政が苦しいので、公民館への補助金は交付できない。岡豊地区公民館のステージ幕は必要なものなので、補正予算で努力して

■岡豊町の市街化

小蓮地区をまず市街化にの計画で、土地区画整理組合方式（地元が事業主体）を進めている。現在測量を完了し、写真の完成を目指している。

■岡豊山の開発問題

岡豊山の西側（字「馬屋床」）の開発は、森林法による許可を受けた開発行為（知事許可）で、市条例（土地開発適正化条例）による規制は、権限外のため出来ない。市街化調整区域なので、建築物は建てられないし、南側への影響も今のところないと思う。

■東バイパス関係

東バイパスに関連する小笠原川の改修は、建設省の補助金を受けて行っている関係で遅れている。今年度一千二百万円の補助金を受けたが、すべて用地買収に費やしており、工事の遅れで水害などが出ないよう対処する。

最後に、小笠原市長は「十分に答えられない部分もあったが、気づいた点があれば、どしどし意見を言っ来てほしい。今後も行政の円滑に努めたい」とあいさつ。また、竹内公民館運営審議会委員が「意義ある会合となった。審議された案件は、できるだけ配慮を望む」と締めくくって散会しました。